

# 2026年度事業計画

# 1-1. 2026年度事業計画 概要

## <取り巻く環境>

### = 世界経済の動向 =

- ・世界経済は「低成長だが底堅い」局面。
- ・金融政策の転換期とウクライナ・**中東情勢**、米中対立、**保護主義的通商政策の拡大**による、**投資・貿易の不確実化**の進行
- ・AI・技術投資による押し上げが期待される

### = 日本経済の動向 =

- ・実質GDP成長率は年0.5～1%程度の低成長を維持、景気後退は回避されるものの、持続的な高成長には至らない見通し。
- ・賃上げと内需が下支えする一方で、人口減少・生産性停滞・外需不透明感がリスクとなる可能性がある。名目賃金は高めの伸びが定着しつつあるが、2026年は物価上昇率が鈍化し、実質賃金がプラス定着する可能性が高く、これにより、個人消費は「横ばい～緩やかな増加」が見込まれている。ただし、**中近東情勢の緊迫化に代表される地政学リスクにより先行き不透明**
- ・設備投資は、省人化・自動化DX・AI関連・脱炭素対応等が中心、一方、国内市場の成長期待の低さから、成長投資は慎重姿勢も残る

### = 商用車（架装）市場 =

- ・架装車両市場全体の方向感「横ばい～緩やかな回復」基調
- ・中東情勢の緊迫化による、**塗料やその他原油製品の供給不足や価格高騰は、車両生産に大きな影響を与えており、先行き不透明**
- ・原材料 価格（鋼材・アルミ） 価格変動、人手不足・事業承継への対応、賃金上昇

# 1-1. 2026年度事業計画 概要

## <2026年度事業計画ポイント>

・2025年度同様、重点6項目を取組み

1) **カーボンニュートラルへの取組み**

各委員会、部会、支部が主導・推進

2) **安全への取組み**

法規情報収集とWG活動

3) **環境への取組み**

環境ラベル取得推進  
産業廃棄物処分量の車工会目標達成

4) **中小企業支援活動**

外国人育成就労制度  
法令順守

5) **活性化活動**

会員に役立つHP  
車体ニュースデジタル化検討

6) **ガバナンス強化・高付加価値化**

ガバナンス/コンプライアンス強化  
高付加価値業務への移行